

研究課題名「当院における糖尿病教育入院患者の身体的および心理的特性調査」に関する情報公開

1. 研究の対象

2016年6月1日～10月31日までに、当院に糖尿病教育入院し、理学療法介入を行った2型糖尿病を患った方。

2. 研究目的・方法

目的：糖尿病教育入院は、糖尿病患者が疾患や療養行動に関する知識や技術について教育を受けることで、血糖を自己管理し、その後の合併症の発症や進行を防止することを目的として、当院でも行われている。糖尿病教育入院における理学療法士の役割は、患者が日常生活の中に運動療法を取り入れ、継続することで、より良好な血糖コントロールを維持できるよう支援することである。しかし、当院の糖尿病教育入院における療養指導は入院期間内に限られることから、より効果的に運動療法指導や介入を行う工夫が必要となる。そのためには、患者の病態や身体特性、療養に対する行動状況や精神心理状態を把握し、個々の特性に合わせた運動指導や介入を行うことが重要であると考えられる。そこで本研究の目的は、当院の糖尿病教育入院患者の運動療法指導に影響する病態や身体特性、心理行動状況の特徴を把握することとする。

方法：2016年6月1日～10月31日までに、当院に糖尿病教育入院し、理学療法介入を行った2型糖尿病患者とし、診療録より情報を収集する。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

年齢、性別、入院日、理学療法開始日と終了日、退院日、糖尿病罹患歴、神経障害の有無、グリコヘモグロビンA1c、空腹時血糖値、経口血糖降下薬の種類、インスリン治療薬の種類と単位数、食事摂取単位数、また理学療法介入期間中に評価した、身長、体重、骨格筋量、体脂肪量、Mini Nutritional Assessment、Mini Mental State Examination、Hospital Anxiety and Depression Scale、10m 歩行速度、Short Physical Performance Battery、握力、膝伸展筋力、行動変容ステージ、自己効力感など。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

名古屋大学医学部附属病院 リハビリテーション部

理学療法士 柴田篤志

〒466-8550 名古屋市昭和区鶴舞町 65 番地

名古屋大学医学部附属病院 リハビリテーション部

電話番号：052-744-2687 FAX 番号：052-744-2688

e-mail: atushi773@med.nagoya-u.ac.jp

名古屋大学医学部総務課 電話番号：052-744-1901

研究責任者：

名古屋大学医学部附属病院 リハビリテーション部

理学療法士 柴田篤志